滿洲事變惹起ト共ニ實際問題トシテ世界ニ於ケル日本ノ勞働運動ノ地位ヲ考ヘサセラレタノデハナイカト思ウ即チ確信ヲ持ッテ居タ運動方針ニ修正ヲ要求サレ或者ハ自分ノ方ガ本質的ダト考ヘ又或者ハ其確信ニ動搖ヲ受ケタ、單ニ之レノミデナク資本主義經濟ノ不安ヽ政治ノ動搖ハ社會問題ニ關心ヲ持タナイ國民ニスラコレデハ駄目ダト云ウ考ヘヲ與ヘタ[illegible]社會的地位ヲ高メ[illegible]今日ノ[illegible]ナル空氣ヲ一掃センガ爲メニ一擧ニシテ葬ルベク革命手段ヲ執ル者モアロウ又徐々ニ革新セントスル者モアツタデアロウ然シ我日本勞働組合會議ハソノ混亂ノ渦卷ノ中ニ毅然トシテソノ使命ヲ守ツテ來タ此ノ意味ニ於テ本日ノ會議ハ社會的ニ重要性ヲ持チ大阪ニ於テ開催セラルヽニ至ツタコトヲ喜ビトシ感謝スルモノデアル[illegible]地方カラ參加サレタル代議員ニ對シ準備不十分デアルコトヲ詫ビルト共ニ意義アルコノ大會ガ社會ニ對シ影響ヲ與ヘ殊ニ我大阪ニ

財團法人協調會大阪支所

一、歡迎ノ辭　執行部代表　西尾末廣

一、開會ノ宣言　米窪滿亮

一、勞働組合主義ノ徹底

一、物價騰貴ニ伴フ賃銀ノ引上ゲ

一、反動諸勢力ノ排擊

一、御用團体撲滅

一、會場ニ掲ゲラレタルスローガン

一、傍聽者　約七〇〇名

一、出席代議員數　七四名

一、場所　大阪土佐堀青年會館

一、日時　昭和八年九月二十四日

記

日本勞働組合會議第二回年度大會ノ件

財團法人協調會大阪支所